



日本全国！地域仕掛け人市 2017 開催レポート

9月30日(土)、EBiS303 エビススバルビル(渋谷区恵比寿)にて「日本全国！地域仕掛け人市 2017」を開催致しました。全国各地から30の地域が一堂に会し、当日は全国各地より若手社会人および学生合わせて400名を超える方々が来場されました。

地域仕掛け人市は、参加者と地域で日々アクションを起こしている仕掛け人が、顔を合わせて直接話ができる出会いの場です。仕掛け人達は、地域特性を示す資料や衣装、地域製品の試食などの五感で地域の魅力を伝えるため、様々な工夫を凝らした個性豊かなブースで参加者を迎えます。交流ブース内は終始賑わいがあり、参加者と仕掛け人両者の真剣な眼差しが印象的な場となりました。



仕掛け人市の見どころの1つでもある「テーマ別セッション」には、各地域の仕掛け人が登壇者となり開催されました。地域で現在行っている取組や仕掛け人の思考を知ること、地域名だけではない観点から地域を知り、興味を持ってもらうことを狙いとして実施しています。3ターム全9セッションは、全て満員御礼。少人数制の距離の近いセッションということもあり終始盛り上がりを見せかけておりました。



これまでも地域の仕掛け人は、人と人。そして都市と地域を繋ぐ架け橋となってきました。本イベントを通じて、参加者と出展者の皆さまのみに限らず、参加者同士や出展者同士の、今後につながる良き出会いやきっかけが生まれ、各々が想いを実現する一歩を後押しできれば大変嬉しく思います。

参加者および出展者の皆さま、ご出展、ご参加いただき誠にありがとうございました。

●開催概要

- ・ イベント名：「日本全国！地域仕掛け人市 2017」
- ・ 日時：2017年9月30日（土）13:00～19:00
- ・ 場所：EBiS303(〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-8 エビススバルビル)
- ・ 来場者：401名
- ・ 実行委員会主催団体：

日本全国！地域仕掛け人市実行委員会

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン/公益社団法人中越防災安全推進機構/株式会社御祓川/

株式会社ツナグム（京都移住計画）/株式会社熊野古道おわせ/NPO 法人学生人材バンク/一般社団法人いなかパイプ/NPO 法人 ETIC.

- ・ 出展ブース：30 団体
- ・ 出展団体

- 1：鳥取面白求人/NPO 法人学生人材バンク（鳥取県）
- 2：「四国の右下」若者創生協議会（徳島県）
- 3：株式会社いろどり（徳島県）

- 4：ヤフー×地域(一般社団法人フィッシャーマンジャパン・TMO 結城・白馬村ふるさとテレワークコンソーシアム) (全国)
- 5：田伝むし／コンソーシアム ハグクミ／ISHINOMAKI2.0 (宮城県)
- 6：南三陸町 移住支援センター (宮城県)
- 7：一般社団法人ワカツク&宮城のソーシャルセクター (宮城県)
- 8：京都移住計画／株式会社ツナグム (京都府)
- 9：尾鷲市 & 尾鷲物産株式会社 (三重県)
- 10：一般社団法人いなかパイプ (高知県)
- 11：錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会 (鹿児島県)
- 12：NPO 法人 ETIC. (東京都)
- 13：ミギウデプロジェクト in 関 (岐阜県)
- 14：岡山県西粟倉村／エーゼロ株式会社 (岡山県)
- 15：能登の人事部 (株式会社御祓川) (石川県)
- 16：松川町／「南信州まつかわ観光局」設立準備室 (長野県)
- 17：新発田市役所 (新潟県)
- 18：伝統技術とものづくり精神を継承するまち 新潟県三条市 (新潟県)
- 19：燕市役所地域振興課交流推進係 (新潟県)
- 20：株式会社あきた総研 (秋田県)
- 21：茨城県北クリエイティブプロジェクト (茨城県県北振興課) (茨城県)
- 22：株式会社温泉道場 (埼玉県)
- 23：下川町産業活性化支援機構タウンプロモーション推進部 (北海道)
- 24：北海道厚真町役場／エーゼロ (株) (北海道)
- 25：にいがたイナカレッジ (新潟県)
- 26：特定非営利活動法人てごねっと石見 (島根県)
- 27：NPO 法人おっちラボ (島根県)
- 28：わかやま定住サポートセンター (和歌山県)
- 29：NPO 法人 wiz (岩手県)
- 30：釜石シティプロモーション推進委員会 (岩手県)

●当日タイムライン

12:30 開場・受付開始

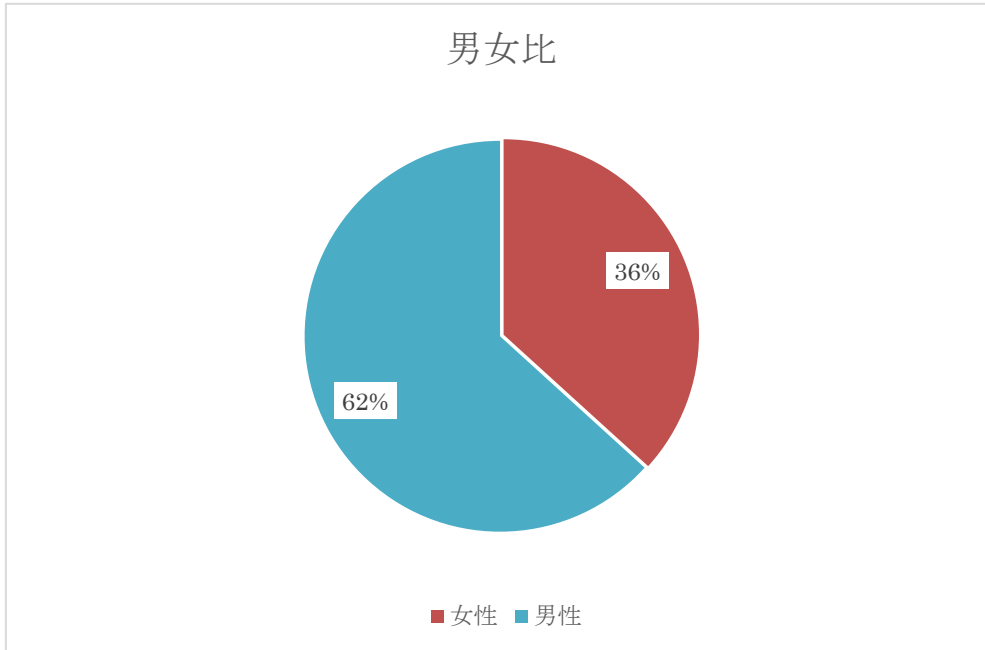
ホール小

- | | |
|-------------|-------------|
| 13:00-13:15 | オープニングムービー |
| 13:15-14:15 | テーマ別セッション 1 |
| 15:15-16:15 | テーマ別セッション 2 |
| 17:15-18:15 | テーマ別セッション 3 |

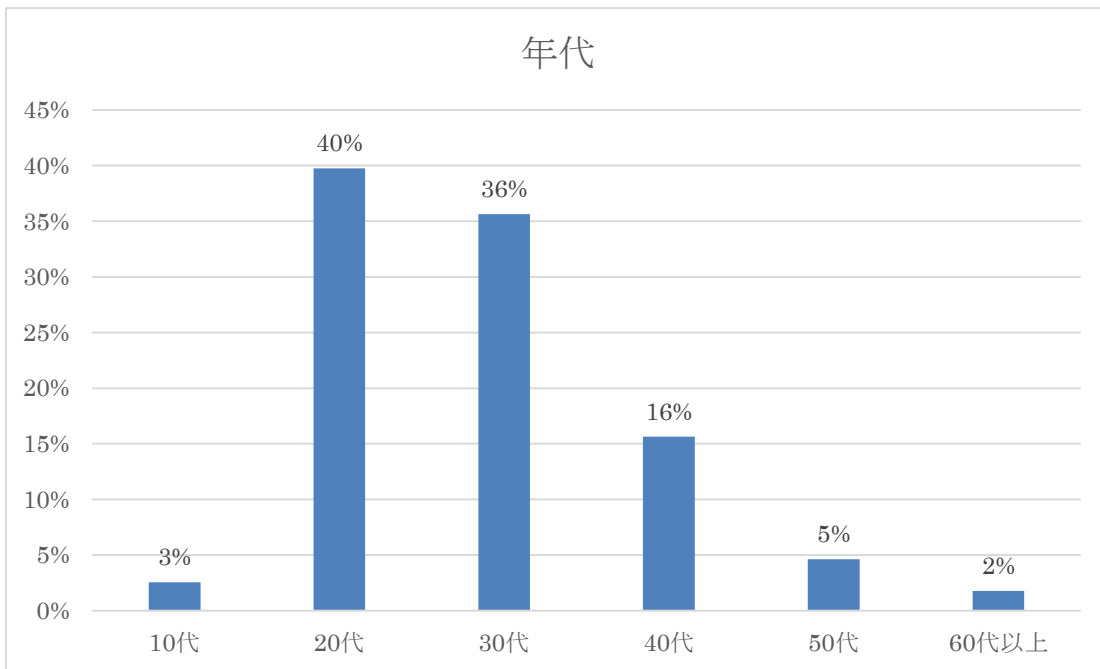
13:15-19:00 個別相談ブース ※終日開催
ホール大
13:15-19:00 ブース交流 ※終日開設
19:00 終了

■参加者データ

・参加者数：401名

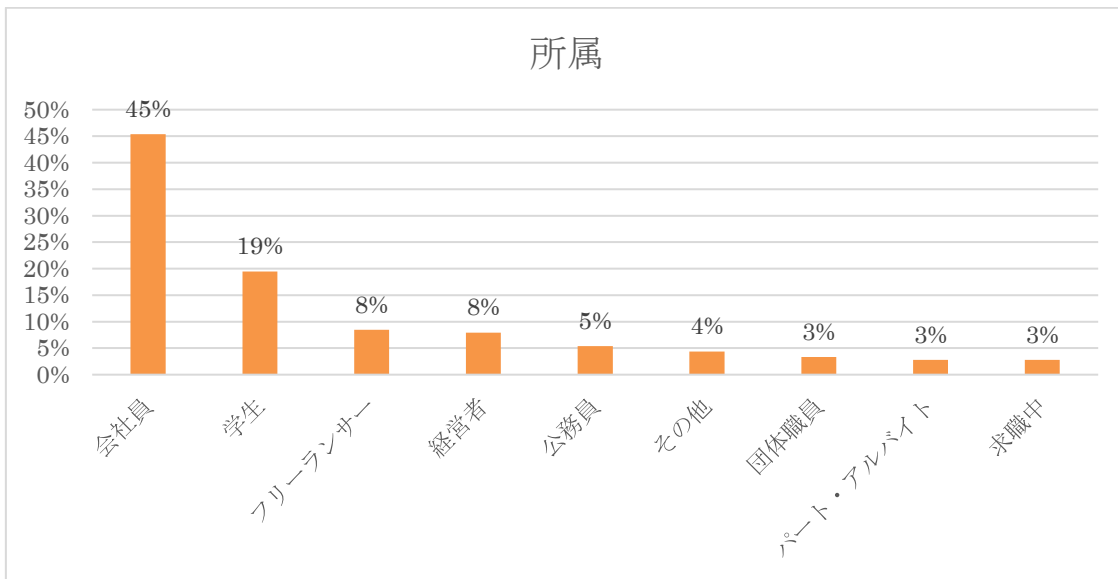


・参加者の62%が男性

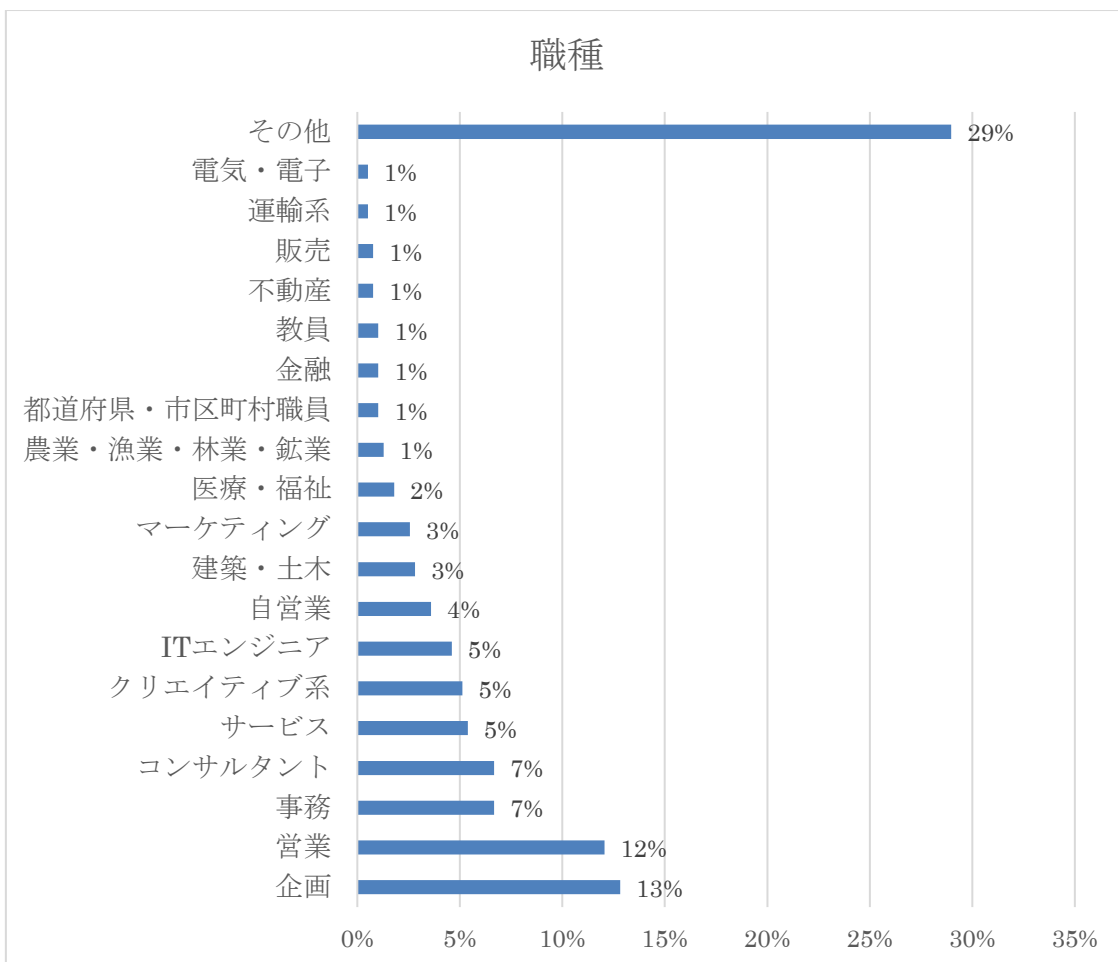


・参加者の約80%が20代～30代

・例年、参加者は20代～30代の占める割合が多い。

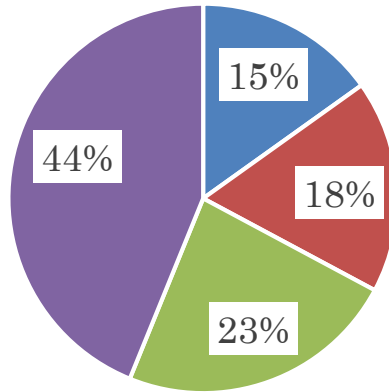


・所属は会社員が最も多く、次いで学生が多い。



・企画、営業職が多く、事務、コンサルタント、と続く

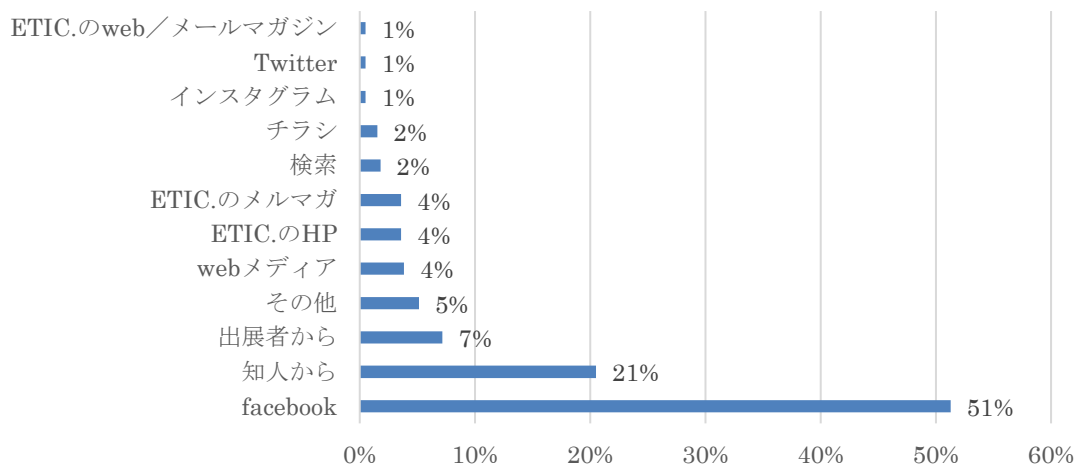
イベントへの参加目的



- 1年以内に地域への移住・転職・就職を検討している
- 3年以内に地域への移住・転職・就職を検討している
- その他
- 移住は検討していないが、地域のプログラムを探している

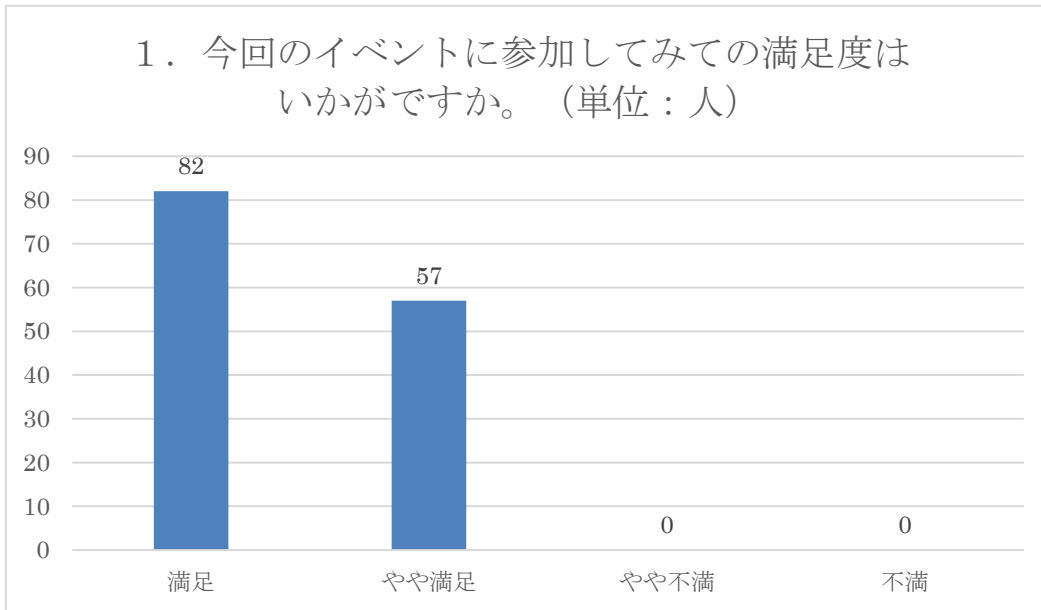
・ 1年以内および3年以内に移住を検討している方は約3割

イベントの認知経路

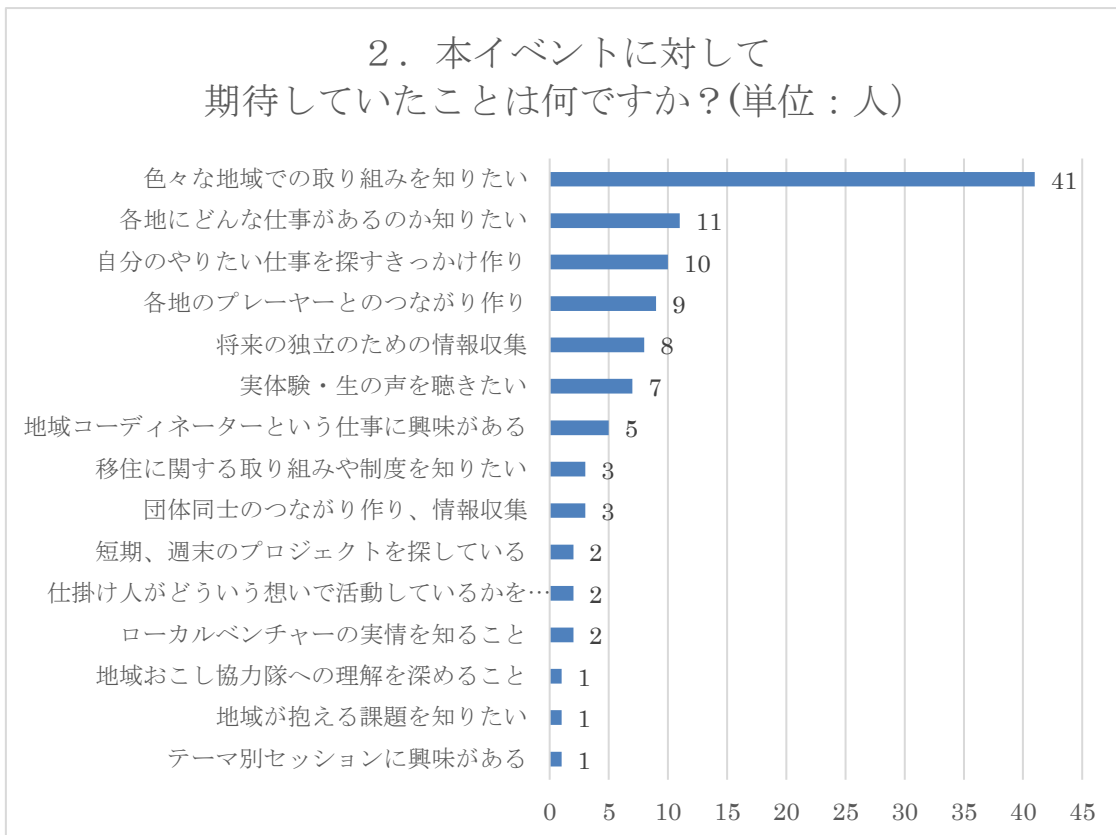


- ・ イベントを知ったきっかけは半数がフェイスブック
- ・ 知人から知ったという人は21%

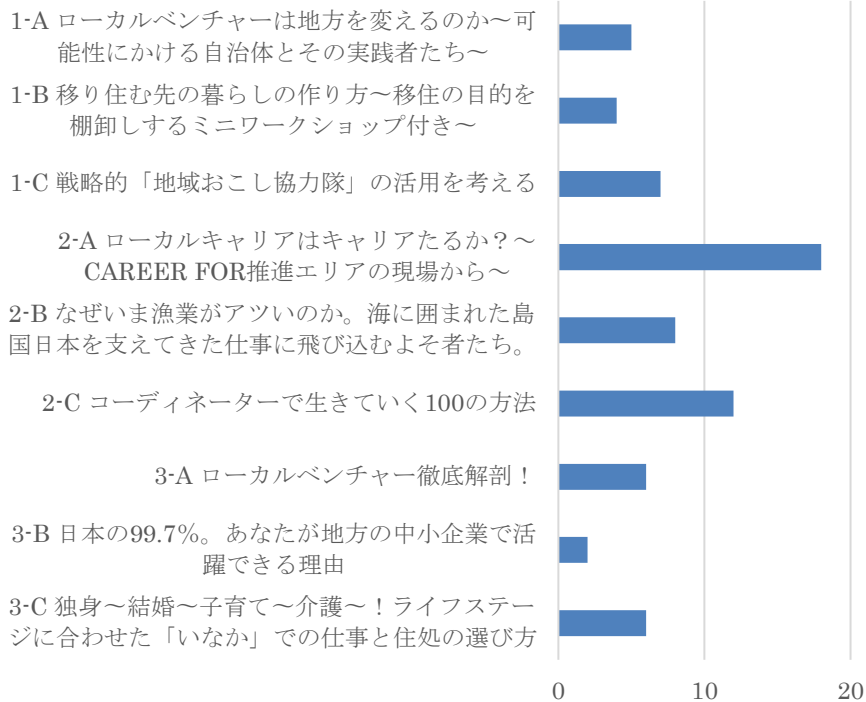
■アンケート結果（回答数：158名、回答率：41%）



・「やや不満」、「不満」という回答は0人



3. 最も良かったテーマ別セッションを教えてください（単位：人）



4. テーマ別セッションでもっとこういうことが聴きたかったということがあれば、教えてください（抜粋）

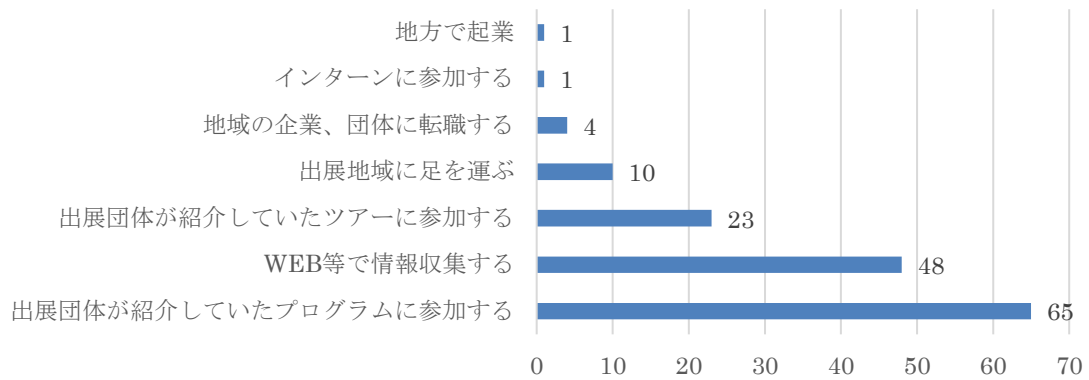
- 関わった地域や地域の人々、自分自身が取り組む前と具体的にどう変わったか、何が変わったか？
- ローカルベンチャーの失敗例とローカルベンチャーならではの原因"
- 各登壇者の実際の活動内容や悩み、課題を深く聞きたかった。
- もう少し意見交換するスタイルが良かった
- もう少し具体的な課題感を見たかった。
- リモートワーカーの受け入れについて
- ローカルベンチャーの成功とは何か？
- ローカルベンチャーを地域に増やしていくにはどうすればよいのか
- 移住した人のケーススタディ
- 学生のインターンについて、その地域での暮らしについて
- 企業同士のコラボや民間での動き
- 人の出会い方、ネットワークづくり

5. 印象に残った言葉、「これは！」と思った出逢い、参加しようと思った仕事・プログラムなど、今回のイベントに参加して得たこと、学んだこと等をご自由にお聞かせください。

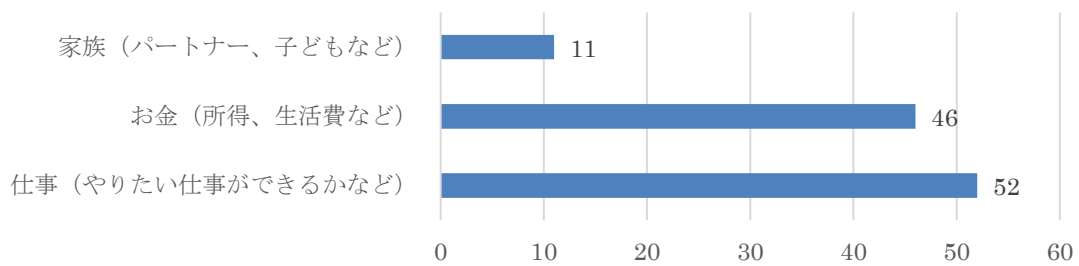
- 「まずはイスを並べる」「アート×サイエンス」釜石の石井さんの言葉
- 「覚悟」という言葉の重みを感じました。
- 「漁師は日本最後の民族だ！」、つながること、一步踏み出すこと、わくわくすることをやること
- 「仕事とプライベートの垣根がなくなる（ほどのめりこめる）のがゴール」という言葉
- 「大卒後、都会でまずはキャリアを積んでから地方へ行く」というのは必ずしもそうすべきという選択肢ではない。
- どの地域を選ぶかは地域ごとの特性（特産物など）を見て、自分の興味のあるもの（＝地域）を選ぶ。
- 地方の方が自分がやったことの影響力が大きく、実感しやすい。"
- エーゼロのタジマさん。ローカルの地にある課題問題を知ることができた。一方、隠れた（東京では知りえない）ローカルの魅力も発見できた。
- コーディネーターではAとBについて、また仕掛ける方法をどれだけ知っているかが勝負。どのつながりも大事にしたいと思えました。
- テーマ別セッションはわかりやすく良かったです。「キーマン」大事ですよ、どの世界でも。
- フィッシャーマン JAPAN のトークイベント！
- まずは今日出会った地域に足を運んでみようと思います。
- やはり地域で稼ぐには信頼が必要である。
- ライフステージごとで、考え直してよい
- ローカルベンチャースクール、西粟倉村、島根県江津
- 移住は手段であり目的ではない。東京は歯車、地方はエンジン
- 違うプログラムで関わった人と、思いがけず会えた。普段なら会えない人と交流できたことが収穫。
- 茨城の取り組みが面白かった
- 印象に残った言葉は「漁師は日本最愛の民族だ！」
- つながること、一步踏み出すこと、ワクワクすることをやること"
- 燕三条の活動内容
- 何でも続けることが大切だという話を聞き、すぐに結果がでなくてもその仕事を続け成果を出されているんだとしみじみ感じることができました。
- 各地域でのツアーなど
- 錦江町の取り組みが大変興味深かった
- 現地ツアー、燕三条の工場開きイベント
- 厚真町のブースが楽しかった。良い話を聞くことができました。

- 江津のまちを知る（ビジコン）、コーディネーターの方の働き方
- 行く！と決めた場所として①徳島県上勝町②鳥取県を見つけることができた。
- 埼玉の温泉にまず行きます
- 事業主になってからも相談しつづけることが大切。
- 自分とは合わないと思った人とあえて交流するようになっていると聞いたこと。
- 住むこと、働くことのバランスを考えるきっかけになりました。
- 新潟県の文化に基づいて移り変わる産業が面白かった。人間味を感じた。
- 新潟県新発田市の地域おこし協力隊、（一社）南三陸研修センターの求人に応募したいと思いました。またターム2のAで伺った「心の声に従う」という言葉から、歩みたいキャリアに向けて自分から行動することの重要性を学びました。
- 新卒で地域おこし協力隊はハードルが高いと思っていたのですが、「にいがたイナカレッジ」さんや「いなかパイプ」さんなどでは地域おこし協力隊ではないいくつかの仕事を組み合わせて働ける提案をして頂けて良かったです。
- 震災をきっかけに地域に目を向けた方が多いことに驚きました
- 地域コーディネーターの仕事も甘くないが、出来そうな気がした。
- 地域で何かをするときは「関係者にあいさつ」
- 地域の中で話を通すことが重要だと学んだ"
- 地域のリソースは豊富である！
- 地域の生態系
- 地域仕掛け人の方はどうして今の職に至ったかを聞くと、意外となりゆきで、という人が多かった。自分が何をしたいのかを常に探しながら、パッチワークのような人生でもよいのだと改めて感じた。
- 地方で働くときにつながりが重要だということ。
- 地方には子どもが憧れる仕事がない、という言葉は印象に残りました。
- 鳥取の学生人材バンク 谷口さん
- 鳥取人材バンクでお話を聞いて興味深かった。
- 直感。実際に行って感じる
- 南三陸、石巻のツアーに参加予定
- 農業イベント
- 尾鷲出身の人と多く会えたこと
- 暮らすように生きる
- 北海道下川町のプログラムは面白そうだと思います。
- 様々な団体さんにつながることができ、非常に有意義な時間を過ごせました。

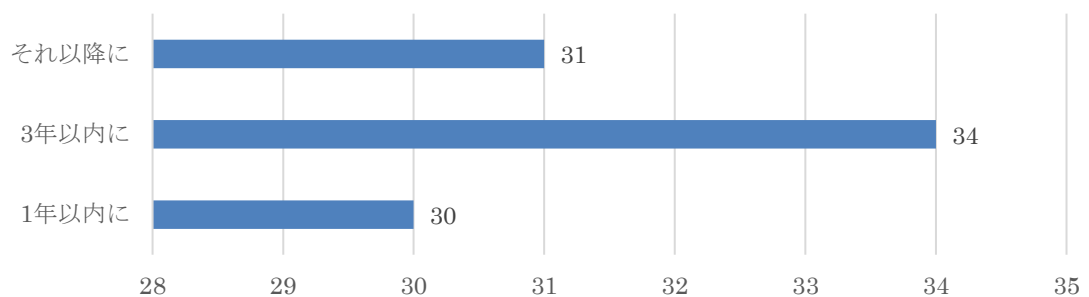
6. 本イベントを踏まえて、次はどんなステップをお考えでしょうか。（単位：人 複数回答あり）



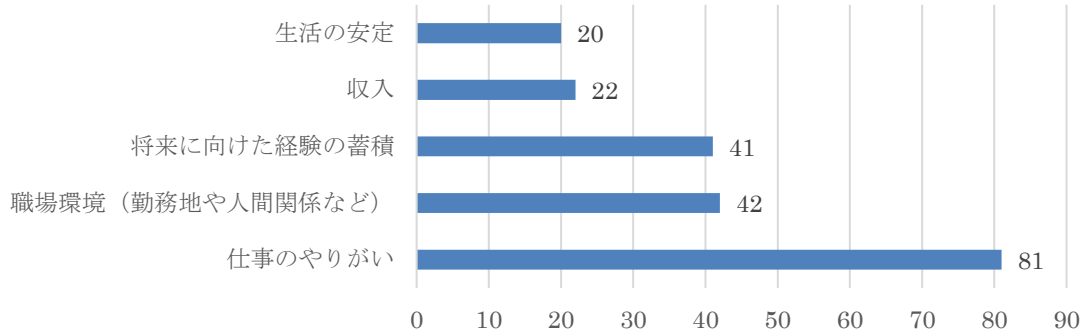
7. あなたが地域に飛び込む上でハードルとなっているものは何ですか。（単位：人 複数回答あり）



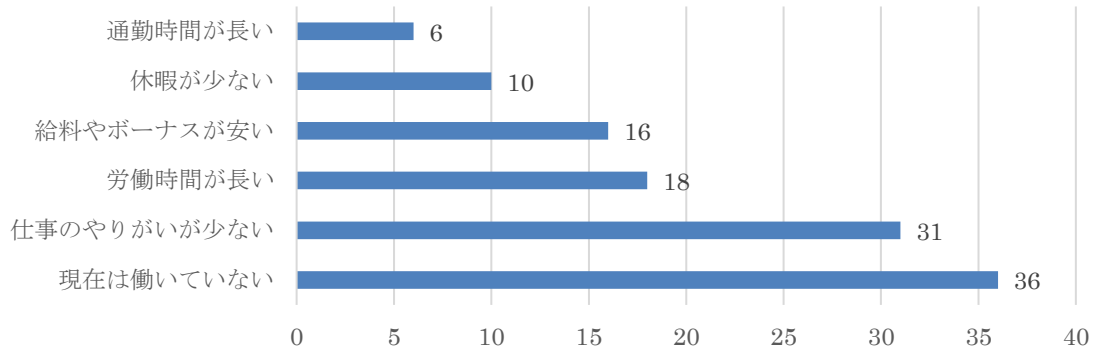
8. いつから地域で働きたいと考えていますか（単位：人）



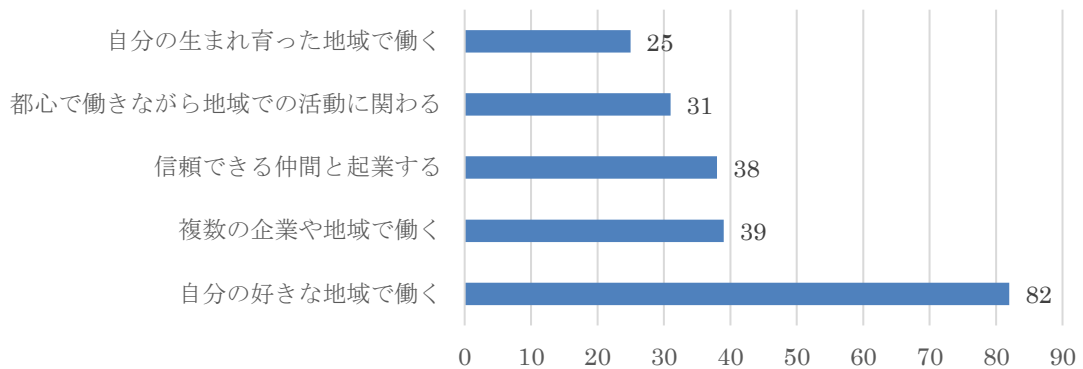
9. 現在の職業を選択する上で、優先していることを選んで下さい。上位2つにチェックをつけて下さい



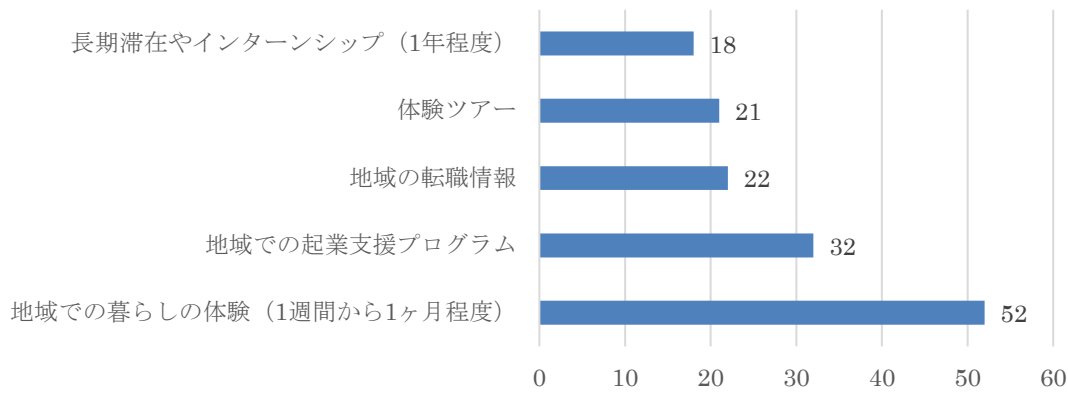
10. 現在の働き方についての課題を教えてください (単位：人 複数回答あり)



11. これから挑戦したい働き方について教えてください (単位：人 複数回答あり)



12. 今後、地域と関わるうえでどんな情報やプログラムがあったらいいですか？（単位：人 複数回答あり）



■出展者の声

- 意欲高い人多い。直接声掛けは70名以上。1人1人個別に呼んだ。ちらほら来た。感触としては、二人移住しそうな人がいた。他のイベントだと考えられない。もう物件を見始めている。
- 来ている人の印象は、アンテナ高い人多い、若い人多い、第二新卒が多かった印象。すぐに移住では無いが、次の転職先候補の一つとして考えている人結構いた。
- ブースに人の入りが絶えなかった。ブースを手伝ってくれた方が呼び込みしてくれたのも要因の1つ。直ぐに移住する人は少なかったが、1度来てもらう為の接点作りになったのは良かった。イベント後のツアーを必須にしてパンフレットやHP上に記載。カレンダー形式で表示して、それを見ながらネクストステップを決めてもらう仕掛け創りが良いかも。
- 若い人が多かった。半年～長いスパンで結果がでてくるので現状はこんな感じ。客層の質に関しては昨年と変化ないように感じた。今回の出展は接点づくりが目的でこれから冬場のイベントに繋げる目的。
- 途切れることなく人来た。学生が多い印象。移住したい人より、地域のPJを探している人が多い印象。学生向けのチラシを持ってくればよかった。次に繋がりそうな人は10人程度。全員で情報共有してはいないが。現地ツアー行きます、という人はいた。

以上